

# 心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 松江市立来待小学校 ～

## 1. 概要

6月25日(金)、松江市立来待小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。  
来待小学校周辺の遺跡や出土遺物を紹介した他、低融点合金を使用して、奈良時代のお金、和同開珎の複製品作りを企画しました。

## 2. 学習の様子

### ○ 来待小学校周辺の遺跡について学ぶ

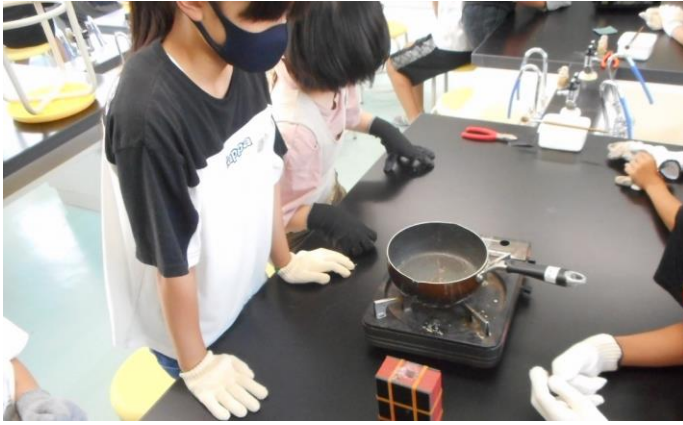


来待小学校の周りには、どのくらい遺跡があるのかな？

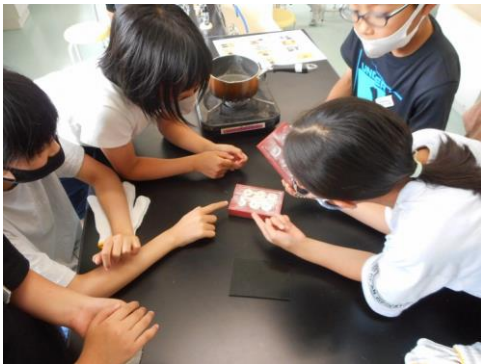


実際に出土した土器などを手に取ってみます。

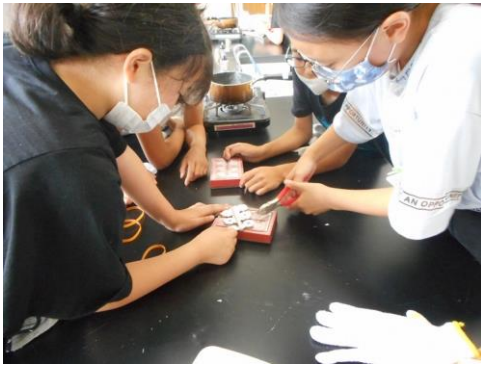
来待地区の城跡と考えられる勝負廻り遺跡から出土した鉄砲玉をさわってみました。「見た目よりも重い！」



いよいよ和同開珎づくり。まずはフライパンで低融点合金のインゴットを溶かします。解けた合金を鑄型に流し込み…



しばし冷まして、恐る恐る鑄型を開きます。あ！できる。



ニッパーで枝銭を切り離していきます。サンドペーパーでバリを落としてできあがり。

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- ・来待にたくさん遺跡があつて驚いた。前は(旧石器時代)隠岐島まで歩いていけたと言うことに驚いた。
- ・島根県に4枚しかないものをさわれた。
- ・昔の本物のお金を作ってみたい(低融点金属ではなく銅で?)。

## 2) 担任の先生から…

- ・身近なところから出てきた出土品についてのお話も、子どもたちにとっては驚きがたくさんありまし  
たし、和同開珎づくりも楽しくて、とても意欲的に子どもたちが学習に参加できました。
- ・ちょうど社会科の学習も奈良時代を扱っている時期だったので、授業と『心に残る文化財子ども  
塾』の内容が繋がって、より理解を深められたように思います。子どもが意欲的に参加できる活動  
でよかったと思います。

## 3) 埋文センターから…

身近な遺跡の存在を知っていただけでよかったと思います。鉄砲玉を持ってきて、「見た目より重い！」と  
言った素直な感想は、当方としても興味深いものがありました。

今回は、ガスコンロやニッパーなど、危険を伴う作業もありましたが、皆さん注意深く、気を付けて実施し、  
事故がなくて良かったです。これからも、今日の学習の内容を思い出して、楽しみながら遺跡に対する理解  
を深めてもらえたらと思います。